

**伴走型省エネ支援業務  
公募型プロポーザル選定委員会議事録要旨**

項 目	内 容
1	日 時 令和8年3月24日 8時55分から11時40分まで
2	場 所 県庁本館 301 会議室
3	出席委員 環境県民局 環境政策課長 環境県民局 環境保全課長 環境県民局 循環型社会課長 商工労働局 自動車・新産業課長 商工労働局 環境・エネルギー産業課長
4	議 題 伴走型省エネ支援業務の企画提案内容の審査
5	担当部署 環境県民局 環境政策課
6	開催方法 参集
7	議事内容 <p>1 審査方法 提案された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最優秀提案者を選定した。</p> <p>2 審査対象者（提案書受理順、最優秀提案者：（◎））  A社 アークエル株式会社  B社 中外テクノス株式会社  C社 e-dash 株式会社  D社 株式会社電通西日本広島支社 （◎）</p> <p>3 審査結果  （1）審査対象者の評価値 別紙のとおり</p> <p>（2）各提案者に対する意見  <b>【A社】</b>  ・IT診断による実測値を用いた検討により、より実効性の高い検討が可能である。  ・連携3社の得意分野を生かすことで、企業のニーズを汲み取った計画の策定が期待できる。  ・県内企業のネットワークが限定的で、企業の募集について不安がある。</p> <b>【B社】</b> ・省エネ対策の提案内容が具体的で、効果が期待できる。 ・他者の提案と比較した場合、特徴的な内容に乏しい印象。 ・参加企業の募集に対する工夫が不十分である。

		<p><b>【C社】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・CO2 排出量の可視化・省エネルギー診断について、実績があり、関係企業の連携等により効果的に事業を推進できると考えられる。</li><li>・成果報告会が一般的な内容であり、実施効果に疑問が残る。</li><li>・県内企業のネットワークが限定的で、企業の募集について不安がある。</li></ul> <p><b>【D社】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・企業の募集について、様々な周知チャンネルを有し、対象企業へのアプローチが具体的で優れている。</li><li>・AI ソリューションの活用など、効率的な計画策定支援が期待できる。</li><li>・成果報告会は事例紹介にとどまらず、地域ネットワーク構築のための時間を確保し、更なる展開を促している。</li></ul>
--	--	--